

2017年2月8日(水)

## 第8回 これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会 とりまとめ(素案)への意見

構成員：公益社団法人日本看護協会 中板育美

黒文字に下線部分は、修正案がある部分

青文字部分 とりまとめ(案)への加筆・修正意見

赤文字部分 とりまとめ(案)への加筆・修正理由

### P5 上から3行目

#### 【素案】

- ・精神保健福祉法においては、患者の退院後の地域生活の支援について、第47条において本人及び家族等からの相談に応じ、指導するという一般的な義務規定が存在するが、入院制度に対応した個別具体的な支援プロセスについては、必ずしも明確化されていない。
- ・措置入院後に地域生活へ移行した際、必要な医療等による支援が途切れ、症状が再発することにより、地域で生活するに当たって困難を抱えることのないよう、従来から行われてきた地域保健による一般的な支援を個々の患者に対する支援として具体化していくことが必要である。



#### 【修正案】

- ・精神保健福祉法においては、患者の退院後の地域生活の支援について、第47条において本人及び家族等からの相談に応じ、指導するという一般的な義務規定が存在するが、入院制度に対応した個別具体的な支援プロセスについては、必ずしも明確化されていない。
- ・措置入院を経て退院し地域生活へ移行した際、必要な医療が途切れ、病状が悪化(再発)することなど、地域で生活するに当たっては抱えざるをえない困難がある。その困難を解消ないし軽減させることができるよう、地域保健による一般的な支援(保健的アプローチ)を通じて、個々の患者に対応した保健所等の予防的関与、再入院を回避できる可能性を引き上げるための家族等への支援や生活支援など、支援(ケースマネジメント)をより具体化していくことが必要である。

#### → [加筆の理由]

- ・措置入院後に地域で生活をする際の「困難」に関しては、すでに多くの生活のしづらさを抱えながら生きておられるので、「困難を抱えないよう」という表現ではなく、現実に即した状況に沿って記載したほうがよいと考えます。
- ・さらに、「保健的アプローチ」の記載は重要と考えますが、具体のイメージが現段階の記載では困難と考えております。少し、保健的アプローチが可視化されるよう、記載をお願いしたいと考えます。

### P19 下から7行目

### 【素案】

- ・ 医療へのアクセスのあり方として、当初から入院に結びつけることなく、①医療導入を検討するためのアウトリーチを行い、②必要に応じて医師による診断に結びつけた上で、③診断に応じて必要な医療導入を図る、という全体の流れが考えられる。
- ・ ①の医療導入を検討するためのアウトリーチは、保健所等の行政による対応が考えられる（保健的アウトリーチ）。他方で、アウトリーチの機会を増やすためには、福祉を担う市町村との連携による保健的なアプローチも考えられる。
- ・ 保健的なアウトリーチを行うに当たって、家族支援をより積極的に行えるよう、支援の内容について検討するべきである。



### 【修正案】

- ・ 精神保健的な健康問題に関する相談が持ち込まれた際には、医療の必要性を把握するためのアウトリーチを含む保健的アプローチを行っている。
- ・ その上で医療へのアクセスの必要性があると推定される場合には、そのあり方として、①当初から強制入院を念頭におくのではなく、医療導入の方法を検討するためのアウトリーチ（訪問）を行い、②必要に応じて医師による関与に結びつけた上で、③診断に応じた必要な医療を受け入れてもらえるよう説明するなど工夫するという全体の流れが考えられる。
- ・ ①の医療導入の方法を検討するためのアウトリーチ（訪問）は、保健所等の行政保健師や精神保健福祉士によるアウトリーチ（訪問）などでの対応が考えられる。また、アウトリーチ（訪問）の際には、福祉を担う市町村との連携によって収集できる生活関連情報なども積極的に相互に参照した上で、保健的なアプローチと統合させながら、医療へつなぐことが必要である。
- ・ 保健的なアウトリーチ（訪問）においては、重症化予防を意識し、家族等への支援や生活支援など必要な支援を積極的に行えるよう、その体制整備に努めるべきである。

#### → [加筆の理由]

- ・ 素案では「医療へのアクセスのあり方」の章であり、医療の必要性が判断されていることが大前提ですが、「当初から入院に結びつけることなく」の記載が言葉足らずだと感じます。そこで、後段にも続く保健的アプローチについて少し導入があったほうがよいと考え、加筆を行っています。
- ・ 医療が必要と判断された人を想定していると考えた場合、②の「必要に応じて医師による診断に結びつけた上で」の表現には矛盾を感じます。
- ・ また、アウトリーチの機会を増やすことを含めた保健的なアプローチは、より積極的な書き方が望ましいと考えます。
- ・ アウトリーチについては、「アウトリーチ（訪問）」と記載したほうが、わかりやすいのではないのでしょうか。